



LNG 導入経験を踏まえた水素普及の整理

＜水素普及のステップと主ドライバー＞

水素事業は LNG 事業と多くの点で類似しており、LNG の経験を踏まえることが有益であり、LNG 導入経験を踏まえ、水素普及のステップを次の 4 ステップとした。

- ① 導入決定（2010～2014 年）
- ② 事業開始（2030 年）
- ③ 立上げ加速（2040 年）（燃料転換：2045 年）
- ④ 自立的拡大（2050 年）

そして、各ステップにおける水素普及の 主ドライバー を下記の通りとした。

① 導入決定時：環境規制・エネルギーセキュリティ

- ・環境規制：CO₂ 排出制約対応
- ・エネルギーセキュリティ：供給源の地理的不偏性、供給源・供給手段の多様性、再エネ導入拡大時の系統調整への貢献等

② 事業開始時：税制優遇・補助金・融資支援、価格設定の設計

- ・税制優遇：ガソリン税相当（暫定）の無税化
- ・補助金：熱量変更/ガス器具調整に対する補助金、
- ・融資支援：各工程・設備に対する銀行融資等、
- ・価格設計・規制・規格：規制の見直し、規格の国際標準化、カーボンプライシングの導入

③ 立上げ加速時：スケール拡大等に伴うコストダウン（C/D）、等

- ・C/D：技術改良 ⇒ スケール拡大 ⇒ 革新技術 による C/D

上記ステップ及び主ドライバーにより ④ 自立的拡大 に繋がって行くと考える。